山形県の古木・名木 No.106

岡田のムクノキ（おかだのむくのき）

飽海郡遊佐町遊佐字油田75

（案内略図）

ムクノキは関東地方以西の温暖な地域に生育する落葉高木で、本県には自生しないと思われ、植栽されることも極めて稀である。樹齢約百三十年、幹周り7.7m。県内に生育するものとしては最大の大きさを誇り、根元は板状に奇異な形態を呈しているとして、昭和33年３月４日に県指定天然記念物に指定されている。

天保14年（1843年）所有者の先祖が、印旛沼古堀筋御普請に出役した際に持ち帰ったものと伝えられている。

ムクノキの名の由来は、樹皮が厚いウロコのようになってむけてくるからとか、ザラザラした細かな剛毛のある葉で木材を磨くときれいに仕上がることから木工（むく）の木といわれるようになったとか、諸説がある。

〔山形県森林協会〕

【森林やまがた134号（2011年７月）記載】